新型コロナウイルス感染症の集団発生と終息等に関するご報告

日頃より、社会福祉法人瑞光会の経営する各事業にご理解とご協力を賜り、まことにありがとうございます。

瑞江特別養護老人ホームのご入所者様と職員に新型コロナウイルス感染症の集団発生がありましたので報告します。経過は以下のとおりです。なお、家族感染の疑い等も含んでいます。

月日	発生状況等
7月17日	前日に発熱したご入所者１名が、医師による抗原検査の結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。 短期入所者の新規受け入れを当面停止することとしました。
7月18日	前夜に発熱した職員１名が、医療機関での検査により新型コロナウイルス感染症と診断されました。 当日朝発熱したご入所者２名が、医師による検査の結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。
7月19日	前夜に発熱したご入所者４名と当日朝発熱したご入所者１名が、医師による検査の結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。 ご家族等の同意を得て夕刻から医師による経口治療薬ラゲブリオの投与を開始しました。（結果として感染したご入所者全員の同意を得て全員に投与）
7月20日	当日午前に発熱したご入所者５名及び当日午後に発熱したご入所者３名が、医師による検査の結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。 ７月18日に発熱した職員２名が、それぞれ７月19日と７月20日に医療機関で行った検査の結果いずれも新型コロナウイルス感染症と診断されました。また７月19日夜に発熱した職員２名と７月20日朝発熱した職員１名が７月20日医療機関で行った検査の結果いずれも新型コロナウイルス感染症と診断されました。
7月21日	当日午前に発熱したご入所者２名が、医師による検査の結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。
7月22日	当日午前に発熱したご入所者２名と午後に発熱したご入所者１名が、医師による検査の結果いずれも新型コロナウイルス感染症と診断されました。 ７月20日朝発熱した職員１名が、７月21日医療機関で行った検査の結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。
7月23日	７月21日夜から微熱等がある職員１名が７月22日に医療機関で検査を行い、また７月22日夜発熱した職員１名が７月23日に医療機関で検査を行った結果、いずれも新型コロナウイルス感染症と診断されました。
7月24日	７月20日に採取した検体による定期PCR検査で陽性判定となった職員１名が、医師による検査の結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。また７月22日夜に発熱した職員１名が、７月23日に医療機関で検査を行った結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。

	当日午前に咳症状があったご入所者２名と無症状のご入所者１名が、医師による検査の結果いずれも新型コロナウイルス感染症と診断されました。（以後はご入所者様の感染は確認されていません。）
７月26日	感染した同居家族の濃厚接触者である職員が、７月26日に医療機関で行った検査の結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。
７月29日	７月25日午後微熱等の症状を発した職員１名が、７月28日に医療機関で行った検査の結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。
７月30日	７月29日夜に微熱等の症状を発した職員１名が、医師による検査の結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。
８月４日	最後に感染が確認されたご入所者の療養期間が８月３日をもって満了し、８月４日から療養者のいたフロア以外で短期入所の受入れを再開しました。ただし、職員のフロア間移動を禁ずるなど特別業務体制を継続しました。 感染した同居家族の濃厚接触者である職員が、８月４日に医療機関で行った検査の結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。
８月８日	当日朝声がれ症状を発した職員１名が、医療機関で行った検査の結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。
８月９日	施設内感染の恐れがないと判断されたのでこの日から通常業務体制に復しました。
８月15日	８月12日に喉の違和感を感じた職員１名が、８月15日に医療機関で行った検査の結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。（集団感染外の疑い）
８月16日	感染した同居家族の濃厚接触者である職員が、８月16日に医療機関で行った検査の結果新型コロナウイルス感染症と診断されました。
８月17日	感染した同居家族の濃厚接触者である職員が、８月16日に医療機関で行った検査の結果、８月17日に新型コロナウイルス感染症と診断されました。

この度の新型コロナウイルス感染症は、７月17日から８月８日までの間にご入所者様24名、職員16名（施設外感染の疑いを含む。）に及ぶ大きな集団発生となってしまい、皆様方に多大のご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

幸いにも一人も入院に至る重傷者を出すことなく、職員も含めて全員無事に療養期間を終了できました。この間労を惜しまず全力で治療にあたってくださいました顧問医の小川先生はじめ、温かいご理解と励ましを送ってくださいましたご家族の皆様、困難に挫けず頑張っていただいた職員の皆様、そして何より病気に打ち勝った感染者の皆様のご努力に深く感謝申し上げます。

まだコロナ感染流行期であり、再度の集団発生に対しても予断を許さない状態でありますが、今後も感染予防対策を徹底するとともに、安心して施設をご利用いただけるよう努めてまいりますので、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。